

おもしろいよー!! 花井愛子

Aiko Handi



発売：主婦の友社

発行：オプトコミュニケーションズ

おもしろいよー!!
花井愛子
Aiko Hanai

発売：主婦の友社
発行：オプトコミュニケーションズ

おもしろいよー!!

花井愛子著(検印省略)

花井愛子(はないあいこ) 1958年11月30日生まれ。
神戸出身。私立南山中学・高等学校女子部から同
短大英語科へ。OLから広告のコピーライターに
なり、株式会社エージーに入社。カゴメ、ワコール、
三菱銀行などのクライアントを担当する。一方で
マンガ原作、エッセイなどの執筆活動を開始。独
立後の1987年、ティーンズ小説作家として大人気
となり、代表作『山田ババアに花束を』は1989年に
ミュージカル化、1990年に映画化された。最近は、
大人向けの小説作品も好評。著書は100点を越える。

平成五年十月二十三日 第一刷発行

発行者 松川邦生

発行所 株式会社オフト・コミュニケーションズ

東京都千代田区神田駿河台一六

お茶の水スクエアA館1F

〒100 電話(東京)〇三三三九四一〇七七(代)

発売元 株式会社主婦の友社

東京都千代田区神田駿河台一九千一〇一

振替・東京二八七五二七

電話・〇三三三九四一〇三四(営業)

印刷所 凸版印刷株式会社

装幀者 鳥井和昌

©AIKO HANAI 1993 Printed in Japan

ISBN4-07-940105-1

乱丁、落丁本はお取りかえいたします。

お近くの書店か、発売元へお申し出下さい。

日本書の全部または一部を無断で複写(コピー)するこ
とは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。
本書からの複写を希望される場合は、日本複写権セン
ター(☎〇三三三六九五七八四)にご連絡下さい。

opt

おもしろいよー!!

花井愛子

CONTENTS◆目次

まえがき ————— 5

ひとり、ひとつ、たくさん。 ————— 15

セレモニーなのだ！ ————— 29

そこにはバケモノがいる。 ————— 41

できるかもしれないじゃない!? ————— 52

飛ぶ飛ぶ「電気ガマ」 ————— 72

こつこつ、こつこつ、こつこつ。 ————— 91

とことん落ちこんでみた日のこと ————— 107

ドーブツの本能 ————— 121

セールス・トーク

132

もと〇し、大歓迎♥

144

だって楽しいんだもん。

157

「おかーさん」には頼らずに。

171

舞浜の夕暮れ

185

昔語りをする理由

197

オモシロ人間を探そう。

211

あとがき

221

■まえがき

ども……。

あのー……。

しがないモノカキやっとります、花井愛子と申す者です……。

ぺこ(ぞ)挨拶。

すさささささーっ (あとずさる状況を表現する擬音)。

で。

花井、扉の陰などに身を隠し、そーっと、顔だけのぞかせて、相手の反応をうかがう。

——なーんてねっ。

ちよいと、シナリオ風。マンガの原作風でもある書きかた、してみました。

あらためまして。

こんにちは！ 花井愛子です。

私のことを知ってくださるかたには。

ほんとうに、心から、ありがとうございます。

1987年から、足かけ7年。主に、10代の女の子たちのための小説やエッセイを書かせていただきつつ生きてきました。

その流れの中で、おっちょこちょいの出たがり人間なものですから、テレビ出演や、雑誌のインタビュー・ページへの登場など、姿をさらすお仕事も、喜んでお受けしてたので、ひょっとしたら、私っていうモノカキが、どんな文章を書いてメシ食ってるかは、さとおき。

「あー。ときどき3時のワイド・ショーで、なんかテキトーなコメントほざいてる、丸顔の黒ぶちメガネの、オバサンでしょー」

と認識してくださってる主婦のかたが、いらっしゃるかもな……、て考えてみたり。

「知ってるー!! ミヨーにアイドルに詳しいミィハーの作家だよ。コンサートとかに

も、しょっちゅう来てるよ、いいトシして」

て、笑ってくれちゃうティーンズの女の子たちが、いるかもなあ、て気もしたり……。

「え、アイドル？ それは、わかんないけど。そのヒトだったら、タカラヅカやつてる劇場で、よく見かけるわよ。舞台関係のエッセイなんかも、ときどき書いてるわよね」

て、もしもしもしかして言うてくださる、演劇好きのオバサマが、存在する、かもかもかもかも、かなー、と想像したりも、する……。

しかし。

あまりにも、この、みつつのイメージは、バラバラだ……。離れすぎて……。。

コメンテーターのオバサン、と。

アイドル好きの、いいトシこいた作家と。

タカラヅカを筆頭として、舞台フリークしてるオネーチャン（——えーっと……。演劇関係の世界だと、30代なんてのは、オネーチャン扱いなんですね……。）。

どれも……。

私には、違いがないんですが……。

——別に、なー。だからって……、そのアチコチで、特に卓越したコト、してるわけじやあ、ないしー……。

なにもエラソーに「私は、こーやって生きてるぞー!!」てのを、言う必要もない。

あ、いや。

10代の女の子たちには、7年がかりで、こんな私だけど、ずっと本気で、一所懸命「ガンバってれば、いつか、なんとかなる日が、来るからねーっ!!」を、発信しつづけてました。

それは。

私の10代を振り返ってみて、ほんとうに、真剣に、自信持って言えるコトだったから。

だけど、ね。

20代になった女の子たちに、どうやって、私の思いを伝えるといいのかなあ……。

と。

迷いまくってたのも、ホントです。

20代——。

まっすぐなだけの子供じゃ、どうしたって、いられなくなるよね。

オトナの『社会』に、踏みこんで。

いままでだったら、オトナって、せいぜい、両親、兄弟、そして、学校や習いごとの教室の先生たち!? 少しは、センパイっていうのも、あるのかな。

に、しても。

正直、まだまだ、狭いフィールドでの、デキゴト。

腹は、立っても。

死にたいぐらいに悔しかったり哀しかったりで、ボロボロ泣いたことがアル、なんていうヒトは、そんなに多くないんじゃないかって気がする。

10代の女の子たちに読んでもらいたい小説やエッセイの中では、できるだけ「オトナって、捨てたモンでもないよーっ!!」と、書き続けてきました。

そのメッセージの本質には、なんら、変わりが、ないんだけど。

20代になった女の子たちには、せつないんだけど「裏切るオトナも、いる。他人の気持ちなんて無視で、自分の利益しか追求しないヤツも、いる。誰かを傷つけて平気なバカモ

ノだって、いる」と――。

言わなきゃ、その先へ行けないってコトも、じゅーぶんわかりつつ。

正直なところ、それを言うのが、私でいいんだろうか!? と迷いまくっていました。決して、すんなりお気楽に、36歳、てトシになったんじゃない、とは、思ってます。だけど。

世の中には、もっとももっとももっとも、タイヘンな修羅場をくぐって、歳を重ねてきた方々が、いらっしやるんだから。

私なんぞの、おしゃべりなんざあ、ちゃんちゃらおかしい、甘っちょろい!! と、片づけられても当然だ……、と。

だから――。

私の「おもしろいよー!!」話は。

いままで、ごくごく気のおけない友人たちにしか、してなかったのです。

それでも。

こんなハナシでも。

「誰かの、元氣のもとに、なりますよー」

などと……。

おっちょこちょいの私を、ノセてくださるスタッフが、ありまして……。

日頃の飲み屋の、私の酔っぱらい、シャベリのネタを……。

大胆にも、1冊の本にしてしまうコトに、なりました。

花井愛子ってヤツは、人見知りしない、てんで、一部にはユーメーだったりしますが。

これで、案外、小心者（——関西弁で言うところの「いちびり」でアル）でもありません。

たぶん、このあとの本文をお読みいただければ、バレちゃうと思います。

加えて。

決してスタイル抜群でもないし、とびきりの美人でもないし、由緒ある家柄の子女でもないし、ナマケモノで、ワガママで。

自分で自分を「よく、生かしてもらってるよなー」と、あきれてしまうヤツ、です。

「そーは、言っても。花井さーん!!」

このお仕事を、セッティングしてくださった、スタッフの、励まし。

「ひとりでも。元気づけられるんなら。それで、いいじゃないですかーっ!!」

「——かもな」

うなずいてしまった私は、とことん、お調子者なのでありましょう。

どうか……。

この1冊は……。

たまたま、飲み屋のテーブルで隣り合わせになっちゃった、ヤケに元気のいい酔っぱらい三十路オバサンが、ビール片手に、なにやらホザいてた……。

と。

そんな雰囲気で、読んでいただければ、とても嬉しいです。

お酒、好きなヒトは。

まず、冷蔵庫のビールのストックを、確認しましょう!!

アルコール、ダメなヒトは!?

そーですねー。

ウーロン茶か、ミネラル・ウォーターのペット・ボトルなんぞ、テーブルに、置いて、だ。

フエイバレットなお菓子の袋なんぞを、パリパリッと開けて、だ。

願わくば、ゆっくりシャワーも浴びといて、て状態が、いいな。

リラックスした、パジャマか、部屋着で。

いつでも、コテン、と寝つけるように、ベッドにもたれて、ていうのも、望ましいな。

『お泊まり』に来ちゃった、ちょっと（か!?）年上の女友達の、たわごとに、耳傾けるみたいにして。

ページ、繰^くっていたけると。

書いた本人としちゃ、幸せです。

マジで……。

途中で……。

『つまんねーの……』て、思ったら。

眠っちゃってねーっ!!

そして。

ひよ、ひよ、ひよ、ひよ、ひよとして、1冊ぶんの「おしゃべり」に、おつきあいただけたあと。なにか、カケラでも、あなたのお役に立つことが、残れば……。

え!?

本代返せって言うかも……、ですか!?

うーん……。

新品に近い状態なら、古書店へ持っていけば、3分の1ぐらいの値段で売りとばせる……。

ま……。

その……。

なんだ……。

三十路のセンパイに、昼メシおごられちゃったつもりで……。

読んでやってくださいな。

ヨロシク、よろしく!!